Tetra
信頼のブランド――テトラ

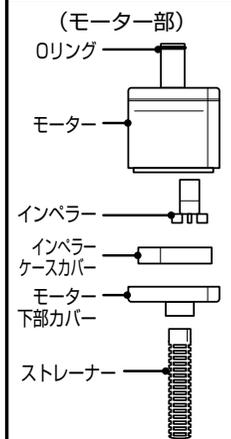
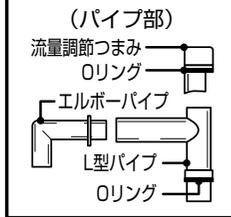
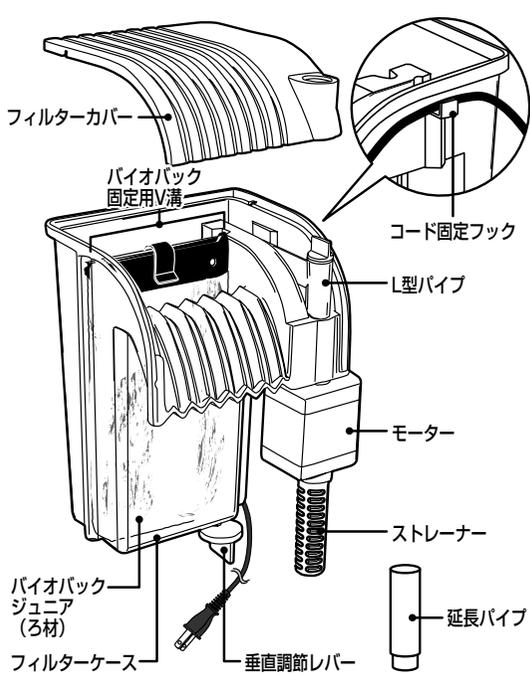
テトラ オートワンタッチフィルター

取扱説明書

AT-20用
AT-30用

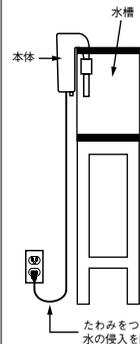
PATENT PENDING
2004-340555
2004-033753
2004-033752

●このたびは、テトラ オートワンタッチフィルター AT-20/AT-30をお買い上げいただき、誠に有り難うございます。
●正しく安全にお使いいただくために、使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、必要な時お読みください。

Japanese Version 100V 50/60Hz

お使いいただく前に、取扱説明書をよくお読みご理解いただいてからお使いください。誤った使い方は、人、動物、財物の重大な事故につながる危険があります。お読みになった後は大切に保管し、必要な時には再読してください。

⚠警告 感電事故を避けるためにお守りください。

●始動前に必ず水漏れチェックをしてください。（設置方法１に従ってください。）
●水の中に手を入れる時は、必ずプラグを抜いてください。
●水漏れや事故の時は、直ちにコンセントからプラグを抜いてください。
●セット、点検、掃除、移動の時はプラグを抜いてください。
●濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。
●強い衝撃を加えたり、落としたりしてはいけません。
●幼児、子供のいたずらや、接触転倒などに十分ご注意ください。
●子供が使う時は、大人が立ち会うようにしてください。
●改造して使わないでください。
●本器を水中に落とした場合、電源を切ってから取り出してください。

⚠注意 火災・漏電事故を避けるためにお守りください。

●電源はAC100ボルトの専用コンセントをお使いください。テーブルタップ（延長コード）の使用は避けてください。
●コンセントのプラグやコードに埃（ほこり）が被らないようにしてください。
●プラグを差し込む時は、隙間が出来ないよう、しっかりと押し込んでください。
●水滴や飛沫がプラグやコンセントを濡らさないようご注意ください。
●痛んだコードは、湿気や水滴により火災をおこす恐れがありますので使用しないでください。
●プラグの刃の部分、刃と刃の間の汚れは定期的に取り除いてください。
●電源コードを加工したり、ご使用の際にたばねたり、柱に打ちつけたりしないでください。
●水がコードを伝わってコンセントを濡らすと火災、感電の原因となります。水が侵入しないように、コンセントより低い位置にコードのたわみをつけるようにしてください。
（左図イラスト参照）

⚠注意 本体による事故や故障を避けるためにお守りください。

●ストレーナーは必ずセットしてご利用ください。セットしないで使用すると異物吸い込みにより停止、故障の原因となります。
●本体を洗浄する時、せっけん、洗剤を使用しないでください。
●ストレーナーの網目より小さな魚や砂は、フィルターに吸い込まれることがありますのでご注意ください。
●観賞魚水槽用フィルターです。それ以外の目的で使わないでください。
●屋内専用です。屋外では使用しないでください。
●正しい電源電圧周波数で使用してください。
●目づまりや汚れによる流量低下は故障の原因となりますので、ストレーナーやモーター部やインペラー部、吸水パイプ部は状況を見ながら定期的に掃除してください。
●水槽の水位に注意してください。モーターを空運転させますと、故障の原因となります。
●適合水槽は魚種、魚の数、環境によって違ってきますのでご注意してください。海水魚、大型魚など、特にパワーを必要とする場合は大きめのフィルターを使用してください。
●器具を本来の目的以外に使用しないでください。推奨されている製品もしくは当社製の付属品以外のものを接続すると、危険な状態になる場合があります。
●0度以下の条件にさらされる可能性のある場所に器具を設置したり、保管したりしないでください。
●作動前に、水槽にセット器具がきちんと設置されているか、水漏れがないか確認してください。
●コードは、つまづいたり、引っ張られたりすることがないように取り付けセットに注意してください。
●高水温となる夏季は、フタを取りはずすなど通気性を高め水温上昇を予防してください。
●酸素消費量の多い飼育状況では、エアーポンプの併用をおすすめします。
●魚病薬等を使用する際は、バイオバッグジュニアを取り除いてください。バイオバッグジュニアが薬効成分を吸着してしまいます。

テトラ製品のお取扱い方法・お手入れ方法・修理その他ご不明な点は、機種名をご確認の上、お買上げの販売店又は弊社にご相談ください。

（弊社商品相談窓口）　テトラ インフォメーションセンター
○電話受付時間：月～金曜日　午前10：00～12：00　午後2：00～5：00　（祭日は休業いたします）
○電話番号：03-3794-9977
○お手紙の受付：（随時）宛先：〒153-0062 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル
テトラ ジャパン株式会社　テトラ インフォメーションセンター行

情報がいっぱいのテトラ ホームページをご利用ください。 www.tetra-jp.com

⚠注意 ●誤った使用方法、管理不十分による損害、魚、水草などの生体の病気、死亡、枯死については、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

各部の名称

（パイプ部）
流量調節つまみ
Oリング
エルボーパイプ
L型パイプ
Oリング

（モーター部）
Oリング
モーター
インペラー
インペラー
ケースカバー
モーター
下部カバー
ストレーナー

（ご注意）
●AT-20の場合、水槽幅12cm（AT-30は13cm）以上の水槽でご利用ください。
●水槽の内寸高さが14cm未満の水槽には装着できません。
●水槽の枠（フレーム）の幅が1.2cmを超える水槽には装着できません。

設置方法

4ページの 各部の名称 を参考に組み立てます。
フィルターカバーを取りはずしバイオバッグジュニア、モーター部のモーターとストレーナー、パイプ部のL型パイプとエルボーパイプを取りはずします。

1 輸送等により破損していることがありますので、水漏れがないかを必ず確認します。
各部を外見からチェックした後、フィルターケース内に2/3程、ぬるま湯を入れて新聞紙の上に15分程置き、水が漏れていないかどうかチェックします。この時、本体下部に取り付けられている本体垂直調節レバーとモーター部、パイプ部の各パーツを取りはずして確認作業を実施してください。水漏れするようでしたら、使用を中止し販売店にお知らせください。

新聞紙

注意

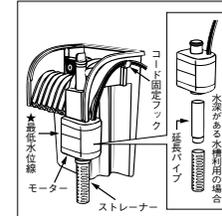
輸送等により破損していることなどがありますので、必ず水漏れをご確認のうえご使用ください。

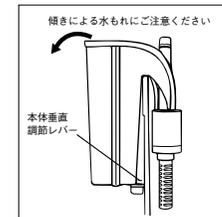
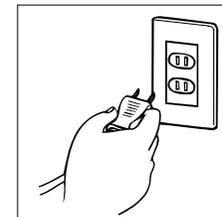
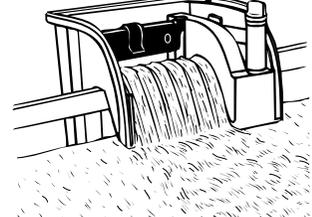
2 バイオバッグジュニアをビニール袋より取り出し、図のように軽くふり、下部に吸着ろ材を集めます。

3 水道水でバイオバッグジュニアを軽くすすぎます。

4 両手でしっかりと図のようにフレーム部を持って、バイオバッグ固定用V溝にバイオバッグジュニアの両端を入れ、底部に届くまでしっかりとセットします。

設置方法

5 吸水パイプ部のL型パイプとエルボーパイプを接続し、フィルターケース本体のL型パイプ接続部にセットします。

6 モーターにストレーナーを接続し、
フィルターケース本体のモーター接続部にセットします。（※モーターはコードが出ている側がフィルターケース本体の接続部となります）ストレーナーは水槽の底の砂利などに接触しないようにしてください。砂を吸い込みますと停止し、故障の原因となることがあります。延長パイプが付属されていますので、水深がある水槽の場合モーターへ延長パイプを接続し利用することもできます。
※モーターから出ているコードは、フィルターケース本体のコード固定フックにコードを掛けてご使用ください。
★水位はモーターの最低水位線より上になるように調節してください。

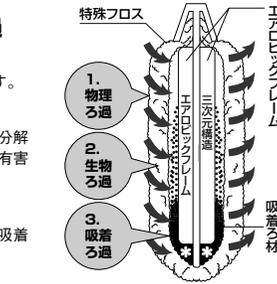
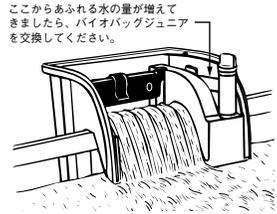
7 フィルターケースが水槽の外側になるように水槽枠にセットし、流量調節つまみを＋（プラス）側に回し、流量が最大になるように調節します。

8 フィルターケース下部に本体垂直調節レバーを取り付けて本体垂直調節レバーを回し、フィルターケース位置を垂直に近づけてください。
※水槽設置時に本体フィルターケース部が垂直でないと、運転時にフィルターケースより水があふれる場合があります。

9 プラグをコンセントに差し込み電源を入れます。これによりモーター部が自動的に水を吸水し始めます。（それでも運転しない場合12ページの「故障異常の見分け方と処置方法」をご参照ください。

10 水槽の水面位置は、水槽最上部より1～3cm下がった部分が水面になるように水槽の水位を調節します。十分に水の流れが確認できましたら、フィルターケース本体にフタをしてセット完了です。

バイオバッグジュニアの交換方法

吸水パイプセット部分より水が多くあふれてきましたら、バイオバッグジュニアを交換してください。また、水のにごりが激しくなりましたら、早めにバイオバッグジュニアを交換してください。交換するバイオバッグジュニアは予め水道水中で軽く洗ってください。

ここからあふれる水の量が増えてきましたら、バイオバッグジュニアを交換してください。

（交換ろ材）
テトラ バイオバッグジュニア

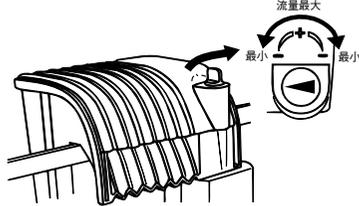
●通常2〜3週間に1度を目安に交換することをお勧めします。
※海水魚や魚を多く飼育している場合は、1〜2週間に1度は交換してください。

バイオバッグジュニアのトリプルろ過

1 汚れをカットする 物理ろ過
特殊フロスが魚のフンや残りエサを除去します。

2 汚れを分解する 生物ろ過
三次元構造のエアロビックフレームが汚れを分解する「ろ過バクテリア」の繁殖をうながし、有害なアンモニア、亜硝酸を分解します。

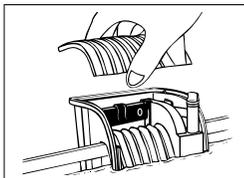
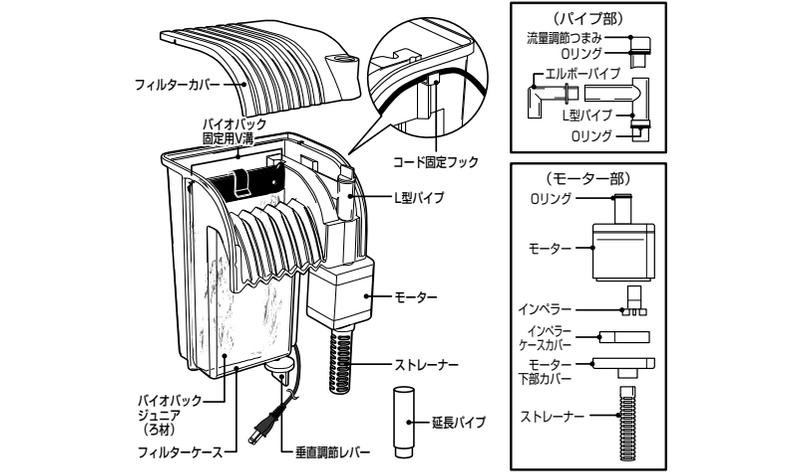
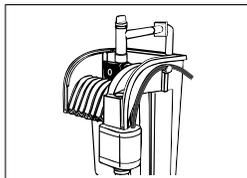
3 汚れを吸いとる 吸着ろ過
1g当たり900m²の表面積を保有する高品質吸着ろ材がにごり、悪臭を吸着します。

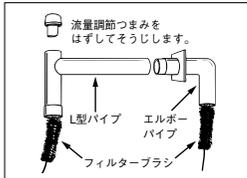
餌を与える時の流量調節

テトラミンやテトラフィンなどフレークフードを与える時は、ストレーナーに吸いつかないように流量調節つまみを一（マイナス）側に回します。（流量調節のマイナスは左・右側どちらでも流量を最小にすることができます）フードが食べ尽された後は、お好みの流量に調節してご利用ください。

吸水用モーター部、パイプ部のそうじ

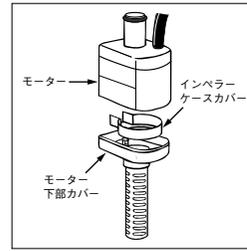
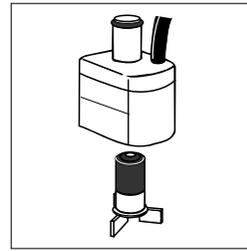
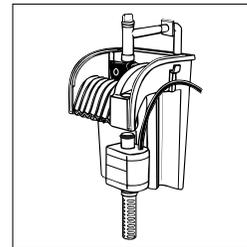
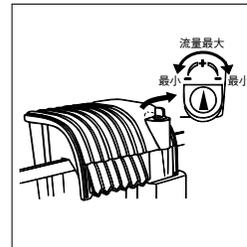
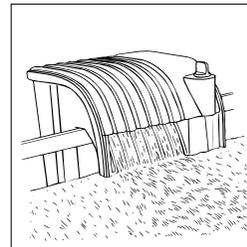
故障防止のため定期的にそうじします。

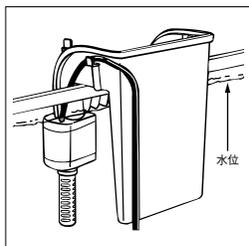
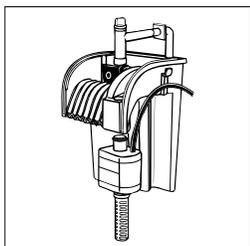
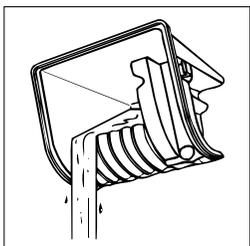
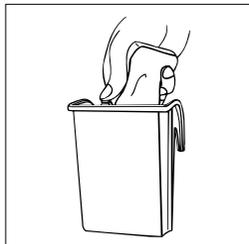
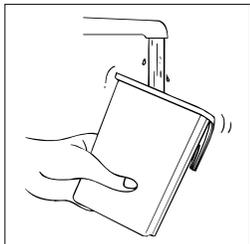
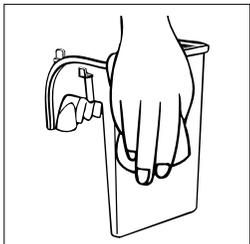
（パイプ部）
流量調節つまみ
Oリング
エルボーパイプ
L型パイプ
Oリング

（モーター部）
Oリング
モーター
インペラー
インペラーケースカバー
モーター下部カバー
ストレーナー

1 電源プラグをコンセントから抜き、フィルターカバーを取りはずします。

2 吸水用パイプ部（L型パイプ、エルボーパイプ）を本体より取りはずします。

流量調節つまみをはずしてそうじします。
L型パイプ
エルボーパイプ
フィルターブラシ

3 本体より取りはずしたL型パイプより流量調節つまみとエルボーパイプをはずし、流水で汚れを洗い流したり、テトラ ワンタッチフィルターブラシ（別売）等を使ってパイプ内をそうじします。

吸水用モーター部、パイプ部のそうじ

4 吸水用モーター部（モーター、ストレーナー）を本体より取りはずします。

5 モーター部よりモーター下部カバーを取りはずします。そしてモーター内にあるインペラーケースカバーを取り出します。

6 インペラーをモーター部より取り出して、流水でインペラーをしっかりと洗います。

7 洗浄した吸水用パイプ部（L型パイプ、エルボーパイプ）とモーター部（モーター、インペラー、ケースカバー、ストレーナー）をフィルターケースの各接続部分を元通りにセットします。

8 流量調節つまみを＋（プラス）側に回し、最大流量に調節します。また、本体垂直調節レバーを回転させ本体位置を水槽設置面に対し垂直に近づけてください。

9 電源プラグをコンセントに差し込み、運転を再開させます。

フィルターケースのそうじ

1 電源コードをプラグより抜き、フィルターカバーを取りはずします。

2 吸水用パイプ部（L型パイプ、エルボーパイプ）とモーター部（モーター、ストレーナー）、バイオバッグジュニアをフィルターケースより取りはずします。

3 水を捨てて空にします。

4 布でフィルターケースの内側の汚れを拭き取ります。

5 フィルターケース内をすすぎます。

6 外側を乾いた布で拭き取り、設置方法 を参考にセットします。

※そうじをする時には、洗剤、シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、金属ブラシなどは使用しないでください。

インペラーの交換

●インペラーを洗浄しても流量が元に戻らないときは、インペラーを交換してください。
●通常、インペラーは3年に1回の交換を目安にしてください。

75742：インペラー AT-20用
75758：インペラー AT-30用

※交換パーツのご購入は、本体ご購入販売店へお問い合わせください。

オプションパーツ

①テトラ ストレーナーフィルター 2個入
●通常2週間に1度を目安に洗浄してご利用いただけます。
スポンジを洗浄してもすぐに流量が少なくなる場合は交換してください。

②テトラ バイオフォームキットジュニア
●AT-30/OT-30 Plus用ろ過バクテリア繁殖ろ材
●ろ過バクテリアの働きで白にごりを除去します。
●フィルターケースへのセットは、バイオバッグジュニアの前になります。
※AT-20には使用できません。

③テトラ ワンタッチフィルターブラシ
●テトラ ワンタッチフィルター用洗浄ブラシです。
●ぬめり、汚れを落とし、モーター停止、流量回復に効果を発揮します。

※交換ろ材、オプションパーツのご購入は、本体ご購入販売店へお問い合わせください。

故障・異常の見分け方と処置方法

注意 ⚠ 細かい砂などの異物を吸い込むと止まります。下記を参考に処置してください。

現　　象	原因・チェック	処　置　方　法
水が流れない	電源は入っていますか?	コンセントにしっかりプラグを差し込んでください。
モーターが止まる	ストレーナー部またはストレーナーフィルタースポンジを使用している場合にゴミが付着していませんか?	ストレーナー部またはストレーナーフィルタースポンジからゴミを取り除いてください。
	インペラー部やモーター内部にゴミや水アカが付着している。または細かい砂やろ材など異物を巻き込んでいる。	インペラー部やモーター内部のゴミや水アカを取り除くために分解そうじをしてください。または細かい砂など異物を吸い込まないように注意してください。
	インペラーや軸に糸や毛などが巻きついている。	糸や毛などを取り除いてください。
	インペラーが軸を中心にスムーズに回転しない。	軸とインペラーの間にカルシウム等のミネラル分が付着しているのを取り除く。（モーターごと食用酢の中に数時間浸してから強い水流中でよく洗う。）
	水槽の水位が低くありませんか?	設置方法 の"10"を参照してください。
流量が弱まる	ストレーナー部やインペラー部、モーター部にゴミや水アカが付着している。	ストレーナー部、インペラー部、モーター内部をそうじしてください。
	ストレーナーフィルタースポンジを使用している場合目詰まりしている。	ストレーナーフィルターを洗浄してください。
	バイオファームキットジュニアを使用している場合、目詰まりしている（AT-30）	バイオフォームキットジュニアを洗浄してください。
異常音が発生する	インペラー部が破損していないかチェックします。	破損している場合、交換します。
	モーター下部カバーがしっかりセットされていない。	モーター下部カバーをしっかりセットします。
水漏れ	フィルターケースに亀裂がありませんか?	破損している場合、そのままご使用になると危険ですので、ご使用にならないでください。
	フィルター本体が傾いていませんか?	垂直調節レバーを調節して、フィルターケースを垂直にセットしてご利用ください。

●上記該当しない場合は、お買い上げ店もしくは弊社テトラ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。